

研修報告書

平成 30 年 1 月 15 日

報告者：岡島貴弘

実施期日：平成 30 年 1 月 11 日（木）～12 日（金）

研修地：滋賀県大津市（全国市町村国際文化研修所）

研修テーマ：市町村議会議員研修「防災と議員の役割」

◆概要

「防災と議員の役割」をテーマに、講義・演習・事例紹介・ディスカッションなどが行われた。

◆講義 1：「地域防災力を向上させるために」 明治大学院 特任教授 中林一樹氏

◆講義 2：「平時の防災」跡見学園女子大学 教授 鍵屋一氏

◆講義 3：「災害時の議員の役割」跡見学園女子大学 教授 鍵屋一氏

◆講義 4：「今後の展望」跡見学園女子大学 教授 鍵屋一氏

◆演習 1：「平時の防災と議員の役割」

◆演習 2：「災害時の議員の役割」

◆事例紹介・ディスカッション

「災害直後、復旧・復興期における議員の役割」熊本市議会議員 小池洋恵氏

◆所感：

平時・有事での議員の在り方・役割についての研修であったが、取り巻く環境によって様々な考え、準備、対応があることを知ることができた。

本市においては、津波による被害は海沿いの自治体よりは低いと想定されるが、直下型地震による建物の倒壊、火災、また、ゲリラ豪雨や台風による洪水被害の懸念がある。

地域環境の似た自治体議員同士で自然とワークチームを組み、抱える課題を浮き彫りにして最善策を練りあったり、現状各自治体が打ち出している準備・対策のメリット・デメリットを正直に出し合い議論を重ねた。

また、事例として「東日本大震災：宮城県東松島市議会の行動」「熊本地震：熊本市議会 小池議員の対応」を紹介されたが、その恐ろしいほどの生々しい実態には会場全体、言葉を失うこともあった。

この貴重な対応事例の紹介により、やがて来るであろう大災害へ立ち向かうべくポジティブなイメージを持つことが出来たと共に、今足り無いかは何か、すべきことは何か、たくさんの課題を再認識することが出来た。

各講師陣の方々が口を揃えて強く訴えることは「学校防災の取り組みを確実に遂行せよ」である。

これは、小中学校に通う児童・生徒が平時から備えを万全にしておき、いかに自身や周りを守り、共に生き残るかを結果として求めることである。児童・生徒の無事は「地域の生きる力」、「共助の成立」に大きく影響する。

学校防災に関しては以前一般質問でも取り上げたが、今後も最善に向けた取り組みが実施されるよう、今回得た知恵知識を基に改めてその重要性の訴えに繋げようとする。

大変有意義な研修となった。